

学習内容報告書 フォーマット

学校名	聖学院高等学校
授業者	生田直子・早川太脩

1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

1-1. 単元名

プロジェクト

1-2. 学年

1年、2年

1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

プロジェクト

1-4. 単元の概要

グローバルイノベーションクラス（GIC）は、学校の理念である Only One for Others を真に具現化することを目的に 2021 年 4 月より新設されたものである。世界的な課題に自分ごととして取り組み、「ものづくり・コトづくり」を通して、他者や世界に貢献できる人材の育成を目指し、4 つの独自科目を軸に活動を展開している。なお、4 つの独自科目とは、イマージョン（3 コマ）、STEAM（6 コマ）、プロジェクト（2 コマ）、リベラルアーツ（2 コマ）である。「プロジェクト」は 3 つの独自科目で培ったスキルとマインドを使って取り組む授業となっている。今年度は 1 年と 2 年の合同の授業となっている。

1-5. 単元設定の理由・ねらい

毎週土曜の 3・4 時間目に行うゼミ形式の授業で、生徒は国際系・環境系・社会系などのゼミから 1 つを選択する。現在、「海洋環境」「起業」「哲学ジャーナリズム」「生活デザイン」「宗教と言語探究」という 5 つのプロジェクトがスタートしており、生徒たちは高 1、高 2 から各 4～8 人、計 12 名前後のチームで協働して探究に取り組んでいる。その成果は 10 月と 2 月の「プロジェクトウィーク」にて発表、展示することになっている。今年度は、2 回とも渋谷キューズにて探究の成果を発表することができた。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

- ①調査方法・データの開示・データの共有・思考の共有が出来るようになる。
- ②仲間との協働・他団体との協働・研究機関との協働・公共機関との協働ができるようになる。
- ③生徒一人一人のデバイスを使用した情報収集、オンラインでつないだコミュニケーション、アプリケーションの利用など ICT の活用がはかれる。
- ④自分たちの消費生活のあり方と環境への影響を踏まえ、持続可能な社会に向けて、当事者意識を持って経済活動・行動ができるようになる。

1-7. 単元の展開 (全 78 時間)

時 数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
10	海洋プラスチックゴミについて、概要をつかむ	<ul style="list-style-type: none"> ・動画の視聴 NHK スペシャル「2030 未来への分岐点」プラスチック汚染の脅威 大量消費社会の限界、プラスチックの海、BBC 放送バリ島近くの海に大量プラスチックゴミ、ドキュメンタリー映画「プラスチックチャイナ」など ・中嶋亮太著「海洋プラスチック汚染」(岩波書店)のアクティブブックダイアログという手法で読み込み発表する ・中嶋氏の講演会に向け質問づくり ・国立研究開発法人海洋研究開発機構 (JAMSTEC) の中嶋亮太氏による講演会
2	マイクロプラスチックの現地調査方法の習得	海岸の砂からマイクロプラスチックを回収する方法や、顕微鏡でその観察が出来ること、どのようなものがマイクロプラスチックになっているか等を学ぶ
8 + 2	学内全体に向けて意識改革を促す	<ul style="list-style-type: none"> ・本校の中学3年に向けて、意識改革のためにプレゼン資料をつくり、各 HR でプレゼンをする。 ・ポスターづくり ・ビーチクリーンに誘う ・映像上映会 (上記 NHK スペシャル等) の実施準備と上映会
12	10月26日(月)～28日(金)のproject week ならびに、10月29日(土)中間発表会 (@渋谷キューズ) への準備	<ul style="list-style-type: none"> ・イラストレーターを利用して、ポスターづくり ・高I高II対象のアンケート (Google フォーム、スプレッドシートでグラフ作成) ・スライド作成プレゼン準備 (パワーポイント、Google スライド、Keynote、スプレッドシートでグラフ作成)
2 + 6	外部発表「100万人 Sustainable Ambassadors」 一般社団法人 SWITCH@渋谷キューズ	<ul style="list-style-type: none"> ・中間発表会にて、招待を受け、東京大学、ICUなどの大学や、KDDI 総合研究所、株式会社明治などの企業や、一般社団法人 Sustainable Game、CRRRA など 20 余りの団体の中で発表する機会を得た。 ・様々な業種の方からフィードバックをいただき、さらに、マイクロプラスチックアクセサリを利用したプレートを作って欲しいと、沖縄のホテル設計事務所からオファーもいただいた。

10	各自の課題設定について、アクションプランを考える→行動する→振り返る→次のアクションプランを考える→行動する→振り返る	次の1~6について、アクションプランをつくり、行動し、振り返るという作業を行っていった。給水機については、1台試験導入ができた。 1. 給水機の導入を学校に働きかける 2. 環境 day を学内で実施し意識してもらう 3. ビーチクリーンに誘う 4. 食堂の使い捨て弁当箱変更の検討をする 5. マイクロプラスチックからアクセサリなどをつくり、学校内外の人にも意識を持ってもらう 6. 各クラスに直接訴えに行くまたは、動画をつくり視聴してもらう
10	2月20日(月)~24日(金)のproject week ならびに、2月25日(土)年度末発表会(@渋谷キッズ)への準備	・イラストレーターを利用して、ポスターづくり ・高I高II対象のアンケート(Googleフォーム、スプレッドシートでグラフ作成) ・スライド作成プレゼン準備(パワーポイント、Googleスライド、Keynote、スプレッドシートでグラフ作成)
2	外部発表 ベネッセ主催「STEAM フェスタ」に参加	・スライド作成プレゼン準備(パワーポイント、Googleスライド、Keynote、スプレッドシートでグラフ作成) ・外部の生徒や大人からフィードバックをいただいた。
12	ビーチクリーン並びにマイクロプラスチック調査 計6回	・小田原酒匂川河口付近海岸 3回 ・葛西臨海公園 ・片瀬江ノ島海岸 ・三浦唐池海岸 ・プラスチックゴミの量や質が時期・場所・天候等によって異なる様子を体感した。
2	ペットボトル資源化事業施設見学	・ペットボトルの資源化工場を見学し、循環型社会づくりの実践現場の現状を知る。施設の理念や挑戦を知り、自分たちに何ができるのかを改めて考えた。

2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいても構いません。

2-1. 単元における位置づけ

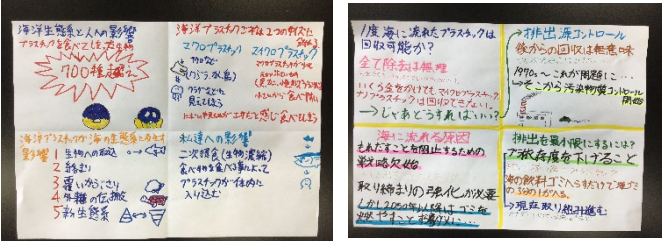
単元 時間中の 時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

2-2. 本時の目標

中嶋亮太著「海洋プラスチック汚染」（岩波書店）のアクティブブックダイアログ（ABD）という手法で読み込みと発表によって、海洋プラスチックの問題について概要をつかむ。

2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
<ul style="list-style-type: none"> ・アクティブブックダイアログの方法を説明 ・担当ページを確認し、読み込みとプレゼン用紙を作成 ・一人約 1 分で、担当ページを順次説明 ・2 週間後に行われる著者による講演会に向けて、著者への質問をつくる意識を持つ 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人あたり 10 ページ前後を担当し、そこに書いてある内容を、B4 用紙 1 枚にまとめる。教員が過去に実施したものを見せて、イメージを持たせる。 ・本を読みながら、キーワードを拾わせる。 ・手が止まってしまっている生徒に、本の内容を口頭で質問して、言葉化を促す。 ・B4 用紙は写真参照 <div style="text-align: center;">  </div> <ul style="list-style-type: none"> ・まず、教員が過去に実施したものを使って、1 分間で説明をしてみせる。やり方をイメージさせる。 ・他の生徒が説明している間、メモをしながら聞くことを促す。 ・疑問や気になることについて、メモを促す。

2-4. 単元における位置づけ

単元 75 時間中の 30~42 時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

2-5. 本時の目標

生徒ごとのプロジェクトの中間報告をし、他者からのフィードバックをもらう。年度末に向けてブラッシュアップをはかる

2-6. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点 (方法)
<p>プロジェクトウィークとして、土曜日 3~4 限のプロジェクトの授業から 1 週間、毎日 5~6 限の授業をプロジェクトの授業に振り替える。最終日は、渋谷キューズにて、ポスター発表または、スライド発表をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒が取り組んでいる課題について、ポスター発表かスライド発表かを決める。 ・自分は何をしてきているのか、何をしたいのか、の解像度を上げる。 ・必要なデータは何か、どこにデータがあるのか、足りないものは改めていつ、どのようにしてデータを集めるのかを検討し実行する。 ・データから読み取れることは何か、また解決策を練る。 ・発表形式に合わせて、ラフスケッチをつくり、過不足がないのか確認する。 ・ポスターはイラストレーターで作成。 ・スライドは PowerPoint、Google スライド、Keynote で作成。 ・プレゼンテーションの練習。 ・渋谷キューズで、プレゼンをし、来場者からフィードバックをもらう。 	<p>左記について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・促す、励ます。 ・解像度を上げるために、壁打ち相手になる。 ・スライドやポスターづくりのスキルを教える。 ・プレゼンのサポート ・フィードバックを伝える。 <div style="display: flex; flex-wrap: wrap; justify-content: space-around;">       </div>

2-7. 単元における位置づけ


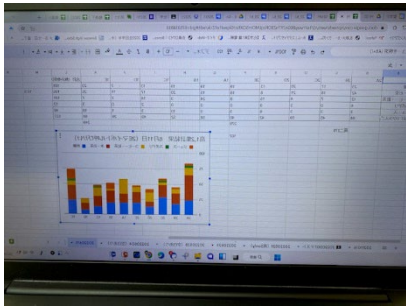
単元 75 時間中の 毎週末 時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

2-8. 本時の目標

ペットボトルゴミの回収とその種類・本数を調べ、現実を知る

2-9. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
<ul style="list-style-type: none"> ・高Ⅰ・高Ⅱの各教室からペットボトルゴミを回収する。 ・クラスごとに、次の 6 種類に分類し、数を数える。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 水・茶 2. 炭酸飲料 3. コーヒー紅茶 4. 炭酸なしジュース 5. スポーツドリンク 6. その他 ・データを蓄積し、意識調査アンケートや給水機の導入前後などとの関係性を調べる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・回収・集計の方法をアドバイスする。 ・データの蓄積の重要性を伝える。 ・スプレッドシートのデータは写真参照 <div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;">   </div>

2-10. 単元における位置づけ



単元 75 時間中の 随時 時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

2-11. 本時の目標

ビーチクリーンとサンプリングにより、現実を知る

2-12. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
<p>【高 I はサンプリングの方法を学ぶ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 50cm 四方に杭を打つ。 ・ その枠内の深さ 1cm ほどの砂をブルーシートの上 に上げる。 ・ ガラスビンに 4 分の 1 ほど砂を入れ、海水を加えて よく振る。 ・ 静置した後、浮いているものを網ですくい回収す る。 ・ 学校に持ち帰り、洗浄して保管する。 <p>【高 II はビーチクリーンをする】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ かながわ海岸美化財団と事前にどの地域をいつ清 掃するかを打ち合わせしておく。 ・ その地域のゴミ分別方法を確認する。 ・ プラスチックゴミを拾いながら、地形・風向き・天 候などとどのような関係があるのかを考える。 ・ かながわ海岸美化財団から指示された場所に、ゴミ を集める。 ・ 特徴があるゴミについては、記録をとり、必要があ れば学校に持ち帰る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ マイクロプラスチックの回収方法を事前に伝え、練 習させる。（詳細は昨年報告済み） ・ 安全を確認する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ かながわ海岸美化財団と事前連絡の方法を教える。 ・ リーダーから指示が出せるように、事前に打ち合わ せる。 ・ 安全確認。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;">   </div>

3. 今回の活動の自己評価

このプロジェクト活動は、教員がすべてを知っていて、すべてを教えるというものではない。年間を通して大きな枠は教員側で決めるが、基本的には生徒と共に学び考え、次のアクションを考え行動をしてゆく探究活動である。したがって、余り誘導しすぎず、生徒の興味関心に寄り添うようにすることがポイントである。タイムマネジメントもはじめは教員が行うが、徐々にその役割も生徒自らが行えるように援助していく。

生徒一人ひとりが何に対して興味関心「問い」があるのか、またその「問い」に向かって具体的に何をしてくるのかをつくりあげるのに時間がかかった。どうしても、学校全体を動かしていきたいと願うことが多く、学校の各部署と相談・交渉をするのは予算や経営の問題にも絡むため、生徒だけでは難しく、目に見える進展がなかなか見えないことが多かった。今回、給水機を学内導入することについては、学内の別のプロジェクトとも連携が取れ、1台だけ試験導入ができた。学校全体に対して、少しずつではあるが、プラスチックゴミ問題が認知されるようになったことは評価できる。

4. 今後の課題

一朝一夕で問題が解決できるものではなく、いかに継続して生徒や教職員の意識を変えていけるかが課題である。「環境 day」をクラス単位ではじめ、学年単位に広げることができた。これを継続させること、また、多くの学年に広げること、更に、学外にも広げる可能性を探ることを課題としたい。

また、給水機をはじめとして、次年度に向けて各生徒の活動方針が決まっているため、本質を見失わないように気をつけながら、生徒の活動に寄り添って一緒に考えていく。

5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

この探究活動は数時間でできるものではない。年間を通して、時間をいかに確保していくのか、また、生徒の「心から解決したい」という思いが大切になる。まずは、コアメンバーになる生徒たちの心に刺さる体験が必要だ。知識で知ることだけでなく、ビーチクリーンや学内のペットボトルゴミの回収など実体験することが必須である。

※実施した單元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト

フォント：MS 明朝、10.5 ポイント / マージン：上下端 20mm、左右端 16mm

※ファイル名は「学習内容報告書_学校名」とし、複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。

例：学習内容報告書_海洋市立パイオニア小学校 1

※年間指導計画（年間の指導計画における単元の位置づけが分かる資料）があれば別添資料として提出してください。フォーマットの指定はありません。